

英会話初級

(選択2単位) 2年前期

DON GUAN CAO*

授業テーマ・内容

この授業では実用的な日常英会話を練習します。穴埋め文章問題はリスニング、カルチュラルヒントは海外の文化の違いを理解する、またペアワークはスピーキング能力の向上と流暢さを伸ばすための練習です。

Cultural Hint のページについては、課題を与えられることがあるので、インターネットなどを利用して異文化の習慣等について調べておくこと。

予習は毎回の授業までに数ページ分の単語、発音、文章の意味などを調べる。授業中は出来るだけ大きな声で発話すること。また、会話力の上達は反復練習によって習得されるため、授業外での復習が非常に大事です。テキストに出てくるフレーズは基本的な会話の文章なので覚えるくらいまで声を出して練習するように。

到達目標・ねらい

このコースのゴールは一般的な英語の読む、聞く、書く、話すの全てにおいて学生の理解力と自信を向上させることと同様に、実用的な英会話技能を向上させることです。日常のシーン別に自然で状況にふさわしい会話ができるようになるのがねらいです。

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	“Introductions”	Unit 1, pp. 1-2	予) 答えの練習 復) 口頭での反復練習
第2週	“Introductions” (cont...)	Unit 1, pp. 3-5	予) 答えの練習 復) 口頭での反復練習
第3週	“Story” & “Speaking Practice”	Unit 1, p. 6	予) 穴埋めの推測 復) 口頭での反復練習
第4週	Various Exercises	Unit 1, pp. 7-8 / Unit 3, p. 1	予) 答えの練習 復) 口頭での反復練習
第5週	“What Do You Do In Your Free Time?”	Unit 3, p. 2	予) 答えの練習 復) 口頭での反復練習
第6週	“What Do You Do In Your Free Time?”	Unit 3, p. 3	予) 答えの練習 復) 口頭での反復練習
第7週	“Story” & “Speaking Practice”	Unit 3, pp. 4-5	予) 穴埋めの推測 復) 口頭での反復練習
第8週	Various Exercises	Unit 3, pp. 5-6	予) 答えの練習 復) 口頭での反復練習
第9週	“The Good Listener”	Unit 4, pp. 1-3	予) 答えの練習 復) 口頭での反復練習
第10週	“Making A Phone Call”	Unit 5, pp. 1-3	予) 答えの練習 復) 口頭での反復練習
第11週	“Making A Phone Call” (cont...)	Unit 5, pp. 4-5	予) 答えの練習 復) 口頭での反復練習
第12週	“Story” & “Speaking Practice”	Unit 5, pp. 5-6	予) 穴埋めの推測 復) 口頭での反復練習
第13週	Various Exercises	Unit 5, pp. 8-10	予) 答えの練習 復) 口頭での反復練習
第14週	Time Expressions	Unit 6, pp. 1-2	予) 答えの練習 復) 口頭での反復練習
第15週	Review Test		

成績評価の方法・評価基準

期末試験	—%
中間試験	—%
小テスト	40%
レポート	—%
演習課題	—%
平常点	60%

テキスト

Speak Easy in Daily Conversation
J. Metheny Sun Mihall Language Service

参考書

履修条件・備考

生涯スポーツ I

(選択1単位) 2年前期

村上弘一、行森祥子*

授業テーマ・内容

生涯スポーツの生活化について、理論と実技を一体化させた演習形態で学ぶ。健康生活を営むために生涯を通して親しめる各種スポーツやレクリエーションスポーツなどの運動を体験学習する。生涯にわたるスポーツライフや心身の健康づくりにおいては、個人の年齢、体力、嗜好に応じたスポーツを選ぶ必要がある。そのための知識や技術を習得し、適切なスポーツ学習を通して幅広く経験し、社会生活におけるリーダーとしての資質と、心身ともに健康的な生活態度も合わせて学習する。

到達目標・ねらい

スポーツの実践を通して体力とスキルの向上を図り、生活の中に運動を取り入れる必要性を理解し、実践する基礎的能力を養うことを目標とする。

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	授業の概要説明	予)このシラバスをよく読んでおくこと。 復)授業で説明した授業概要を確認しておくこと。
第2週	導入	ストレッチング、柔軟体操、筋力トレーニング	予)柔軟体操を行っておく。 復)説明があったストレッチングの方法等を復習しておく。
第3週	各グループにおける種目選択	バレーボール・バスケットボール・硬式テニス・ソフトボール等8種目	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第4週	〃	〃	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第5週	〃	〃	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第6週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第7週	グループ対抗戦		予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第8週	各グループにおける種目選択	バドミントン・卓球・フットサル・サッカー等8種目	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第9週	〃	〃	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第10週	〃	〃	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第11週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第12週	各グループにおける種目選択	バレーボール・バスケットボール・硬式テニス・ソフトボール等8種目	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第13週	〃	〃	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第14週	〃	〃	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第15週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。

成績評価の方法・評価基準

期末試験	—%
中間試験	—%
小テスト	—%
演習課題	—%
レポート	40%
平常点	60%

テキスト

参考書

履修条件・備考

☆

生涯スポーツⅡ

(選択1単位) 2年後期

村上弘一、行森祥子*

授業テーマ・内容

生涯スポーツの生活化について、理論と実技を一体化させた演習形態で学ぶ。健康生活を営むために生涯を通して親しめる各種スポーツやレクリエーションスポーツなどの運動を体験学習する。生涯にわたるスポーツライフや心身の健康づくりにおいては、個人の年齢、体力、嗜好に応じたスポーツを選ぶ必要がある。そのための知識や技術を習得し、適切なスポーツ学習を通して幅広く経験し、社会生活におけるリーダーとしての資質と、心身ともに健康的な生活態度も合わせて学習する。

到達目標・ねらい

スポーツの実践を通して体力とスキルの向上を図り、生活の中に運動を取り入れる必要性を理解し、実践する基礎的能力を養うことを目標とする。

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	授業の概要説明	予)このシラバスをよく読んでおくこと。 復)授業で説明した授業概要を確認しておくこと。
第2週	導入	ストレッチング、柔軟体操、筋力トレーニング	予)柔軟体操を行っておく。 復)説明があったストレッチングの方法等を復習しておく。
第3週	各グループにおける種目選択	バドミントン・卓球・フットサル・サッカー等8種目	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第4週	〃	〃	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第5週	〃	〃	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第6週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第7週	グループ対抗戦		予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第8週	各グループにおける種目選択	バレーボール・バスケットボール・硬式テニス・ソフトボール等8種目	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第9週	〃	〃	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第10週	〃	〃	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第11週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第12週	各グループにおける種目選択	バドミントン・卓球・フットサル・サッカー等8種目	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第13週	〃	〃	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第14週	〃	〃	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。
第15週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。 復)ルール等よく理解しておくこと。

成績評価の方法・評価基準

期末試験	—%
中間試験	—%
小テスト	—%
演習課題	—%
レポート	40%
平常点	60%

テキスト

プリント
参考書

履修条件・備考

☆

日本語のはじまり

(選択2単位) 2年前期

齋藤安輝

授業テーマ・内容

人類の発生と進化、言葉の獲得といった、人類学の初歩および、文学の発生や、漢字の伝来とその定着に始まる主に仮名成立以前の漢文による文学、「古事記」・「風土記」・「萬葉集」など平安以前の古代日本の文学と歴史の展開を、実際に毎回作品を通して具体的に学ぶ。

到達目標・ねらい

個々の事項を知るといより、講義により得た知識から、「歴史とは何か」「文学とは何か」「人間とはどういう存在か」などということをも自発的に考えて答えを求め、「演繹的思考法」を身につけることが本講義の目指すところである。

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	文化と人類	人類にとって文化とは何か	予)文化の定義とは? 復)ノートの整理と確認
第2週	人類の誕生と進化①	猿人の誕生	予)霊長類とヒトの違いは? 復)ノートの整理と確認
第3週	人類の誕生と進化②	直立二足歩行	予)直立二足歩行はヒトに何をもちたか? 復)ノートの整理と確認
第4週	人類の誕生と進化③	親指の対向性	予)自分の手はどのようになっているか 復)ノートの整理と確認
第5週	人類の誕生と進化④	道具の使用	予)道具とは何か 復)ノートの整理と確認
第6週	モンゴロイドの大移動	原人の脱アフリカ	予)人種とは何か 復)ノートの整理と確認
第7週	日本人のルーツ①	縄文人	予)縄文時代とは? 復)ノートの整理と確認
第8週	日本人のルーツ②	弥生人	予)弥生時代とは? 復)ノートの整理と確認
第9週	移動と定住	狩猟採集生活と稲作定住生活	予)生活のスタイルはどう違うか 復)ノートの整理と確認
第10週	戦争と土地占有	戦争の起源と弥生時代	予)ヒトはなぜ戦争をするのか 復)ノートの整理と確認
第11週	国占めと国見 -大王の土地占有-	『風土記』に見る土地占有説話	予)土地を占有するためには何をすればよいのか 復)ノートの整理と確認
第12週	無文字と口承 -カタリ文学-	口承文学と漢字の伝来	予)文字を使わずに言葉を伝達する方法は? 復)ノートの整理と確認
第13週	国生み神話 -日本のはじまり-	『古事記』の国生み神話	予)どのような日本神話を知っているか 復)ノートの整理と確認
第14週	古代の死生観① 黄泉国	日本人は「死」をどのように考えているか	予)「死」と「生」の違いは何か 復)ノートの整理と確認
第15週	平常試験		

成績評価の方法・評価基準

平常試験(完全論述式)	80%
中間試験	—%
小テスト	—%
レポート	—%
演習課題	—%
平常点	20%

テキスト

新日本文学史 秋山虔編 文英堂
随時プリント配布

参考書

履修条件・備考

平安遷都以前の初歩的な日本史の知識を要す。

社会と経済のしくみ

(選択2単位) 2年前期

荒井敏男*

授業テーマ・内容

現代の「社会と経済」のしくみおよびその問題点について理解するために、前半では経済学の基礎知識と歴史を学ぶ。言わば、「しくみ」についての学習である。具体的には、基礎知識では市場のメカニズム(資本主義経済)の理解を中心に学び、歴史では第2次世界大戦後の日本経済の歩みを振り返っていきたい。

後半では、現在の経済社会における諸問題について考察する。例えば、経済成長至上主義の限界が多くの経済学者によって言われている一方で、現実にはアベノミクスのように成長戦略を模索する経済政策の運営がなされている。この現実の経済政策にはいかなる問題点があるのかを、時事的な事項を取り上げつつ、学生諸君とともに考えていきたい。

到達目標・ねらい

授業を通じて、学生諸君が新聞やTVニュースで報じられる経済問題や社会問題を理解できるようになること。また、卒業後、社会人としてキャリアを積んでいく際に、「自学自習」できる基礎的な素養を養うこと。この2点を授業の到達目標とする。経済学を本格的に学んだことのない人が大半であるので、様々な現実の事例に言及したり、基本的な事項をその都度、確認・説明していくなど、できるだけわかりやすい講義を心がけたい。

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
< 経済学の基礎知識 >			
第1週	資本主義経済の歴史と理念	資本主義と社会主義、ケインズ経済学、市場原理主義	予) シラバスに目を通し、授業の概要を把握しておく。 復) 授業概略の確認と経済学の基本的な考え方について見直しておく。
第2週	市場と経済主体	市場メカニズム、様々な市場	予) 参考文献①の市場の機能に関する箇所を読む。 復) 前回の経済学の考え方および資本主義経済の特徴との関わりで市場について見直しておく。
第3週	経済政策	財政金融政策、産業政策	予) 参考文献①の経済政策に関する箇所を読む。 復) 市場に政府がいかに介入するかを理解するために、整理しておく。
第4週	グローバル市場の展開	国際取引、為替相場、企業の国際的な事業展開	予) 参考文献①の国際経済関連の箇所を読む。 復) 身近な国際取引の事例を、自身の場合などどのように考えられるか、想定してみる。
< 戦後の日本経済の歩み >			
第5週	復興期	戦争の被害、民主化、ドッジライン、朝鮮戦争特需	予) 参考文献②の復興期に関する箇所を読む。 復) 復興期の特徴を日本政府の対応と米政府の対応に分けて整理しておく。
第6週	高度成長期前期	高度経済成長の要因	予) 参考文献②の高度経済成長期に関する箇所を読む。 復) なぜ、高度成長が達成できたのかを、総合的に把握しておく。
第7週	高度成長期後期中間試験(予定)	高度経済成長の帰結	予) 参考文献②の高度経済成長期に関する箇所を読む。 復) 高度経済成長期の問題点を、現在の時点から振り返って、確認しておく。
第8週	激動の70年代	ニクソン・ショックと石油ショック	予) 参考文献②の石油危機に関する箇所を読む。 復) 日本経済が70年代にどのような変化を余儀なくされたかを整理して、理解しておく。
第9週	経済大国化への道	輸出の拡大、円高不況	予) 参考文献②の石油危機以降の日本経済に関する箇所を読む。 復) 80年代の低成長から経済大国化への変化の要因を整理して理解する。
< 現代の経済社会の課題 >			
第10週	バブル経済とその崩壊	失われた20年	予) 新聞などから現状の理解を深める。および、参考文献③④をできれば読む。 復) バブル経済が意味したところを、現時点から見直しておく。
第11週	規制緩和	雇用の流動化などの規制緩和の帰結	予) 新聞などから現状の理解を深める。および、参考文献③④をできれば読む。 復) 前回の講義内容と重ねて、なぜ新自由主義的政策が採用されたのかをしっかりと理解しておく。
第12週	日本社会の変化	少子高齢化・家族の変容・貧困問題	予) 新聞などから現状の理解を深める。および、参考文献③④をできれば読む。 復) 前回の講義内容を振り返り、日本の経済社会の大きな変化を、経済問題を考察するさいの背景としてしっかりと理解しておく。
第13週	グローバリゼーションの進展	グローバリゼーションの光と影(発展途上国と日本)	予) 新聞などから現状の理解を深める。および、参考文献③④をできれば読む。 復) 今も続くグローバル化の波について、講義内容を参考に、現実の動きに重ねて、理解する。
第14週	アベノミクス	成長戦略の限界と成熟社会への道	予) 新聞などから現状の理解を深める。および、参考文献③④をできれば読む。 復) 講義での説明をニュース等で報じられる現実のアベノミクスの動向や問題点と重ねて、理解を深める。
第15週	講義全体のまとめ	現代経済学の課題	予) 新聞などから現状の理解を深める。および、参考文献③④をできれば読む。 復) 試験に備え、講義ノートの整理と全体のまとめをする。また、試験問題の説明で取り上げた重要項目に着目して、その内容の確認をする。
第16週	期末試験		

成績評価の方法・評価基準

期末試験	70%
中間試験	30%
小テスト	—%
レポート	—%
演習課題	—%
平常点	—%

テキスト

教科書は使用しない。

参考書

次の文献は基礎知識の習得に有効な入門書である。なお、①は第1～4週の講義に、②は第5週～第9週の講義に、③④は第10週からの講義に関連する参考書である。

- ①『高校生のための経済学入門』(小塩隆士、ちくま新書)
- ②『戦後の日本経済』(橋本寿朗、岩波新書)
- ③『成熟日本への進路』(波頭亮、ちくま新書)
- ④『資本主義の終焉と歴史の危機』(水野和夫、集英社新書)

履修条件・備考

TVニュースや新聞等を通じて、日ごろから経済や社会に関する報道(情報)に目を配っておくことが望ましい。

マネジメントシステム

(選択2単位) 2年前期

大坂吉文*

授業テーマ・内容

マネジメント(management)とは広義の管理を意味し、経営目標を達成するための基本的な活動である。その範囲も開発、設計、生産、流通、安全等多岐にわたっている。本講義では、技術に立脚する事業を行う企業・組織が、持続的発展のために、技術がもつ可能性を見極めて事業に結び付け、経済的価値を創出していくマネジメントの方法を学ぶ。

最初に経営を取り巻く環境と基本的な枠組みについて、次に具体的に開発、設計、生産、品質、物流について学ぶ。特に、生産システム(モノづくり)、品質管理については、多く時間を割き、具体的現実的な事例を基に講義し、社会人やビジネスマンまたはウーマンになったとき役立つ改善の考え方、手法に触れる。最後には、情報システム管理、安全管理、危機管理も学ぶ。

到達目標・ねらい

マネジメントの仕方、改善の考え方、技法を習得することにより、それらを実作業で生かし、社会人やビジネスマンまたはウーマンとして、即戦力となり活躍出来ることを目標とする。

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	授業計画の概要	予)シラバスに目を通し、授業概要を把握しておくこと 復)IEインダストリアル エンジニアリング
第2週	企業経営	企業経営概論、プロジェクトマネジメント	予)テキスト1、2章熟読 復)PERT
第3週	製品開発と設計ツール	製品開発プロセス、開発ツール	予)テキスト3章熟読 復)VEバリュー エンジニアリング
第4週	ものづくりとIE(1)	生産システム、工程分析	予)テキスト4章熟読 復)生産性とは、工程分析の方法
第5週	ものづくりとIE(2)	IE、標準時間管理	予)テキスト4章熟読 復)標準時間設定方法
第6週	ものづくりとIE(3)	効率化へのアプローチ	予)テキスト4章熟読 復)JITとは、MRPとは
第7週	ものづくりとIE(4)	ラインバランス分析	予)テキスト4章熟読 復)ラインバランス分析法
第8週	原価管理	原価構成、財務管理	予)テキスト5章熟読 復)固定費、変動費、損益分岐点
第9週	品質管理(1)	品質の定義・日本の品質管理の歴史	予)テキスト6章熟読 復)製造品質と設計品質、QMとは
第10週	品質管理(2)	統計的品質管理	予)テキスト6章熟読 復)QC7つ道具
第11週	品質管理(3)	全社的品質管理	予)テキスト6章熟読 復)新QC7つ道具
第12週	品質管理(4)	住宅・宅地の品質管理	予)テキスト7章熟読 復)消費者保護、製造物責任
第13週	ロジスティクス	サプライチェーン、ロジスティクスの動向	予)テキスト9章熟読 復)在庫管理方式
第14週	情報システム	ICT、情報セキュリティ	予)テキスト10章熟読 復)情報管理の重要性
第15週	労働安全と危機管理	労働安全管理、メンタルヘルス	予)テキスト11、12章熟読 復)リスクマネジメント
第16週	期末試験		

成績評価の方法・評価基準

期末試験	70%
中間試験	—%
小テスト	—%
レポート	—%
演習課題	—%
平常点	30%

テキスト

初学者向け「技術経営テキスト」-実践向け例題付き—
大坂吉文他共著 理工図書 2014年3月初版

参考書

「中小企業経営診断の実務」 大坂吉文他著 TAC 出版
「生産システム工学」 人見勝人著 共立出版

履修条件・備考

予習・復習を必ずし、授業には、ノート、電卓、定規を持参下さい。
授業中は、携帯マナーモードにし、質問・意見を出してください。

くらしと法律

(選択2単位) 2年後期

水野浩児*

授業テーマ・内容

我々の生活は様々な法律で囲まれている。また全ての法律が全ての人に関係するわけではない。場面場面により関係してくる法律には違いがあるのでくる。

法律を大きく大別すると、市民としての生活に関する法律と、国民としての生活に関する法律とに分れる。前者を私法の領域、後者は国と国民の関係を定めた公法の領域である。私たちの日常のくらしにおいては、私法に関する法律が関係してくることが多い。私法の基本法は民法であり、民法を中心に学習することで、市民生活において法的な知識や経験がいかにか大切に学んでいく。法律行為の代表である契約については、契約の主体や契約の対象(客体)について論理的に学習し、制限行為能力者制度などについても深く掘り下げ、高齢者社会に法律がどのように関与しているかも説明していく。

企業経営における法律の関与も様々な角度から説明を行い、実務に役立つ法律知識を身につけることができるように学習する。

また、時事問題は法的な問題を含んでいることが多く、状況に応じ、新聞等に掲載された時事問題を取り上げ検討していく。

法律は意外と身近なものである事に気付き、みなさんの生活に少しでも役に立つ講義になることを目標に取組む方針である。

日常生活における法律関係を自然と意識できるレベルになってもらいたい。

到達目標・ねらい

受講生が日常生活には網の目のように法律関係がある事を理解し、契約についての最低限の知識を身につける。

具体的な到達目標

<到達目標1>法律が暮らしにおいてどのような位置づけにあるか、理解できるようになる。

<到達目標2>契約締結に必要な知識を身につける。

<到達目標3>コンプライアンスの意味を理解する。

<到達目標4>タイムリーな話題について新聞を利用して解説し、法理が身近な部分に関与していることを知る。

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	くらしをとりまく法律	日常生活においても、身の回りにたくさんの法律がある。	予)新聞などで身近な法律に関する記事探す 復)身近な契約を見つけ、まとめる
第2週	権利の主体性と民法の基本原則	民法の基本は何かについて学び、人は契約等の主体であることを確認する。	予)教科書p13を読んでおくこと 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと
第3週	権利の主体性と民法の基本原則	所有権絶対の原則・私的自治の原則・過失責任の原則について学ぶ。	予)教科書p8-p9を読んでおくこと 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと
第4週	意思能力・行為能力・責任能力	契約に必要な能力について確認する。	予)教科書p15を読んでおくこと 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと
第5週	意思能力・行為能力・責任能力	制限行為能力者制度について学ぶ。	予)教科書p18を読んでおくこと 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと
第6週	権利の客体	契約の対象となる物について学ぶ。	予)教科書p81-p82を読んでおくこと 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと。 身近な動産についてノートにまとめること。
第7週	物権	所有権をはじめとした、モノに対する権利について学ぶ。	予)最近購入した物についてどのような契約をしたか考えておくこと。 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと
第8週	法律行為と契約の法理	契約成立の要件とその効果について学ぶ。	予)教科書p91を読んでおくこと 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと
第9週	契約の種類	民法に定められた典型契約について学ぶ。	予)売買契約・賃貸借契約について身近に経験したケースをまとめておくこと 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと
第10週	事務管理・不当利得・不法行為	契約以外の債権の発生原因について学ぶ。	予)意思表示(教科書P100)を熟読し、まとめておくこと 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと
第11週	契約における意思表示	意思の不存在・瑕疵ある意思表示等、不完全な意思表示について学ぶ。	予)教科書p100-p101を読んでおくこと 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと
第12週	代理制度	現代社会における代理制度の役割や、無権代理・表見代理について学ぶ。	予)教科書p132-p133を読んでおくこと 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと
第13週	時効制度	取得時効や消滅時効などについて学ぶ。	予)教科書p205を読んでおくこと 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと
第14週	民法とその他の法律の関係	くらしに関係する様々な法律を紹介する。	予)新聞で税制改革に関する記事を探し読んでおくこと 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと
第15週	税法と日常生活	税金とくらしとの関係を税制改正案を基に説明する。	予)2016年度税制改正案を調べておくこと 復)講義内容を200字程度でまとめておくこと。暮らしに影響が大きい税制についてまとめること。
第16週	期末試験		

成績評価の方法・評価基準

期末試験	80%	中間試験	10%
小テスト	10%	レポート	10%
演習課題	10%	平常点	20%

テキスト

民法講義1総則〔補訂第2版〕
高森八四郎著 法律文化社

参考書

履修条件・備考

コンパクト六法等、小さな判例要旨集を用意してもらう。

現代社会論

(選択2単位) 2年後期

岡尾将秀*

授業テーマ・内容

本講義では、私たちの勉強や仕事、子育てや介護といった基本的な生活が、現代社会のどのような仕組みのなかで、他者とどのように関わりながら営まれているのかを理解します。そのために第一に、核家族や学校、企業や国家といった近代に形成された集団、組織が、私たちの生活にどのような点で役立っているのかを把握します。その上で第二に、これらの集団、組織では解決できない問題を解決するために、どのようなソーシャル・ネットワークやコミュニティを結んでいけばよいかを考えます。

到達目標・ねらい

私たちの生活が、これまで現代社会のどのような仕組みのなかで営まれているかを説明し、これからどのような仕組みを作っていく必要があるかについて意見をもつ。

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	講義内容の概要	予) シラバスの購読。 復) 説明のあった授業概略を確認しておくこと。
第2週	核家族の時代	核家族形成を可能にした高度経済成長時代の社会状況について説明	予) 自分が育った家族について思い出す。 復) 拡大家族から核家族に移行する条件を把握する。
第3週	核家族の役割	核家族での育児と介護を可能にしている性別役割分業について説明	予) 家族における自分の両親の役割について考える。 復) 性別役割分業が成立した条件を把握する。
第4週	核家族の困難	核家族での育児と介護が困難になっている社会状況について考察	予) 自分が育った家族の抱える困難について考える。 復) 核家族がうまくいかない条件を把握する。
第5週	代替家族の模索	これからの子育てと介護を担う家族の作り直しについて考察	予) 実の両親以外に誰がどのように子育てに参加すればよいかを考える。 復) 血縁のない親子関係のメリット、デメリットを把握する。
第6週	工業の情報化	「情報システム財」の生産について説明	予) 近年の工業で起こっている変化について調べる。 復) 工業で重要になっている情報の特徴を把握する。
第7週	雇用の流動化	限定された成果を求められる非典型雇用の増加について説明	予) 正規雇用が難しくなっているのはなぜかを考える。 復) 非典型雇用のメリットとデメリットを把握する。
第8週	仕事の多様化	女性や外国人による就業と男性の新たな仕事について考察	予) ある生産を実現するためにどのような仕事が必要か考える。 復) 女性、外国人、男性といった属性の違いによる働き方の違いを把握する。
第9週	これからの協働	多様な働き方をする人びとがどのように協力すべきかを考察	予) 多様な働き方の統合の困難について考える。 復) 多様な働き方が統合される条件を把握する。
第10週	福祉国家の仕組み	政府による就労者を中心とする社会保障について説明	予) 自分が福祉についてどのようなイメージをもっているかを考える。 復) 先進諸国に普及している社会保障制度の特徴を把握する。
第11週	福祉国家の修正	政府による福祉が困難になっている状況について説明	予) 自分の家族は国家において、どのような福祉を受けてきたかを考える。 復) 近年の子育てや介護への支援の成否を把握する。
第12週	地域福祉の拡充	コミュニティ福祉の必要	予) ボランティアが増加している理由を考える。 復) 私たちが今後どこでどのような支援を受ければよいかを把握する。
第13週	相互扶助の活性化	困難を自覚する当事者同士の助け合いについて考察	予) 自分がどのような困難を抱えているかを考える。 復) 自助グループの特徴を確認し、実際にどのようなものがあるか調べてみる。
第14週	社会主導のイノベーション	「地方創生」の夢と現実	予) 社会に役立つ産業について考える。 復) 地域社会復興の条件を把握する。
第15週	総復習	まとめと補足	予) ノートに目を通してくる。 復) 各講義をまとめる短文を作る。
第16週	期末試験		

成績評価の方法・評価基準

期末試験	40%
中間試験	—%
小テスト	—%
小レポート	30%
演習課題	—%
平常点	30%

テキスト

特に指定せず、必要に応じてアウトラインを提示し、資料を配布する。

参考書

古城利明・矢沢修次郎編『現代社会論[新版]』有斐閣Sシリーズ、
見田宗介著『現代社会の理論——情報化・消費化社会の現在と未来——』、
内海博文編著『現代社会を学ぶ——社会の再想像＝再創造のために——』にネルヴァ書房を使用。

履修条件・備考

セクションを終えるごとに、小レポートを提出してもらいます。

産業心理学

(選択2単位) 2年後期

谷口友梨*

授業テーマ・内容

本講義では、キャリア発達、集団特性、集団内の影響、安全と事故といった産業心理学の基礎的なテーマを中心に講義を行う。
 具体的には、仕事への態度(モチベーションや職務満足、組織コミットメント)や人間の集団行動の特性(集団心理)、対人関係(リーダーとフォロワーの関係や、上司と部下の関係など)、また、職場のストレスにより生じる精神疾患(うつ病、心因性精神疾患、バーンアウトなど)や離職(若年者の早期離職・転職など)、安全と事故(ハインリッヒの法則など)がどのようなものであり、その原因となる要因は何かを学ばせる。こうした諸問題についての理解を深めた上で、将来の職業生活(ワーク・ライフ)に向けて自らのキャリア発達について考える。

到達目標・ねらい

受講者には、これから迎える、あるいはすでに迎えている職業生活のために、職場集団における人間の行動と心理について基礎的な心理学の考え方を習得する。これらの学習を通して、最終的には、本講義で身につけた知識を活用し、自らの職業生活をどのように営むかを熟考する。

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	オリエンテーション	心理学とは	予)シラバスの熟読 復)産業心理学以外の心理学について調べる
第2週	ワーク・モチベーション	仕事のやる気を高めるには	予)モチベーションについて 復)モチベーションに関する理論やモデルの理解
第3週	職務満足と組織コミットメント	仕事のやりがい	予)職務満足と組織コミットメントについて 復)職務満足と組織コミットメントに関する理論やモデルの理解
第4週	職場のストレスとメンタルヘルス①	ストレスのメカニズム	予)ストレスやコーピングについて 復)ストレスやコーピングに関する理論やモデルの理解
第5週	職場のストレスとメンタルヘルス②	精神疾患と離職	予)精神疾患や離職について 復)精神疾患や離職に関する理論やモデルの理解
第6週	集団の特性①	NASA ゲーム	予)集団の心理について 復)NASA ゲームの結果から集団合議の有益性を考える
第7週	集団の特性②	同調と規範	予)同調やマイノリティインフルエンスについて 復)同調やマイノリティインフルエンスに関する理論やモデルの理解
第8週	集団の特性③	集団心理	予)集団合議や集団・他者の存在の影響について 復)集団合議や集団・他者の存在の影響に関する理論やモデルの理解
第9週	集団内の影響①	影響過程	予)勢力や影響について 復)勢力や影響に関する理論やモデルの理解
第10週	集団内の影響②	古典的なリーダーシップ論	予)古典的なリーダーシップについて 復)古典的なリーダーシップに関する理論やモデルの理解
第11週	集団内の影響③	新たなリーダーシップ論	予)交流型と変革型のリーダーシップについて 復)交流型と変革型のリーダーシップに関する理論やモデルの理解
第12週	組織事故と安全	安全社会を目指して	予)ヒューマンエラーや安全文化について 復)ヒューマンエラーや安全文化に関する理論やモデルの理解
第13週	キャリア発達①	キャリア発達の理論	予)キャリア発達について 復)キャリア発達に関する理論やモデルの理解
第14週	キャリア発達②	自らのキャリア発達を考える	予)自分の将来(したい仕事など)について考える 復)講義中に行うワークをもとに自らのキャリアを再考する
第15週	メンタリング	キャリア発達に必要なこと	予)メンタリングについて 復)メンタリングに関する理論やモデルの理解
第16週	期末試験		

成績評価の方法・評価基準

期末試験	55%
中間試験	—%
小テスト	30%
レポート(または試験)	—%
演習課題	—%
平常点	15%

テキスト

参考書

「よくわかる産業・組織心理学」
 山口 裕幸・金井 篤子 ミネルヴァ書房

履修条件・備考

講義を受けるにあたり、必ずノートを取るようになしてください。
 また、予習には心理学の辞典や上記の参考書、その他の心理学関連の書籍を活用することを推奨します。